

麻生区区民アンケート 概要版

令和7（2025）年1月

川崎市麻生区

○ 調査の目的

区民の意識、区政に対する意見やニーズ等を調査することにより、区政運営及び地域課題解決に向けた取組の参考とすることを目的とする。

○ 調査の方法

- (1) 調査地域 …… 川崎市麻生区全域
- (2) 調査対象 …… 麻生区在住の満18歳以上の外国人含む男女個人
- (3) 標本数 …… 2,000 サンプル
- (4) 標本抽出方法 …… 住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出
- (5) 調査方法 …… 郵送法（郵送による調査票の配布及び回収）
- (6) 調査期間 …… 令和6年7月12日（金）～令和6年8月12日（月）
（最終回収日：令和6年12月10日（火））
- (7) 調査委託機関 …… 山上技術士事務所

○ 調査の項目

- | | |
|---------------------|------------------------|
| (1) 麻生区について | (6) 暮らし、生活について |
| (2) 麻生区役所について | (7) 災害への備えについて |
| (3) 麻生区内の市民利用施設について | (8) 新百合ヶ丘駅周辺のまちづくりについて |
| (4) 地域活動について | (9) 自由意見 |
| (5) 町内会・自治会について | |

○ 回収状況

調査票配布数	回収数	うち白紙回答	有効回収数	有効回収率
2,000	1,139	1	1,138	56.9%

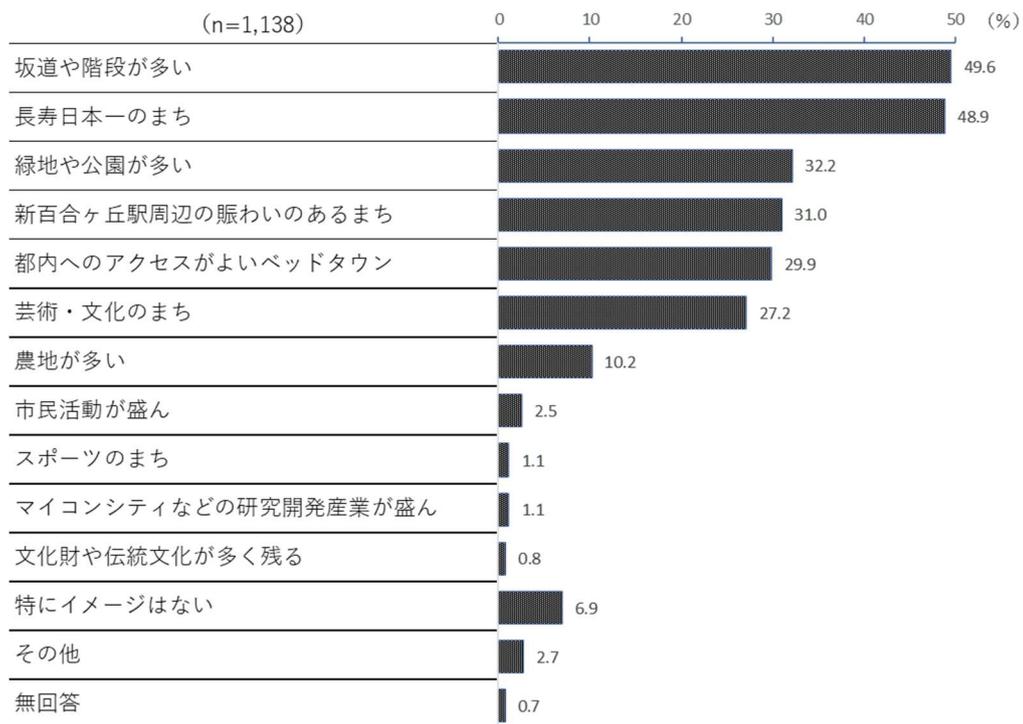
○ 報告書の見方

図表中の「n」は、各質問の回答者数を示す。回答の比率(%)は、nを基数として算出し、小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで示した。したがって、選択肢の中から1つだけ回答を選ぶ質問であっても、すべての選択肢の比率の合計が100.0%にならない場合がある。また、選択肢の中から複数の回答を選ぶ質問では、すべての選択肢の比率を合計すると通常100.0%を超える。

1. 麻生区について

(1) 麻生区のイメージ

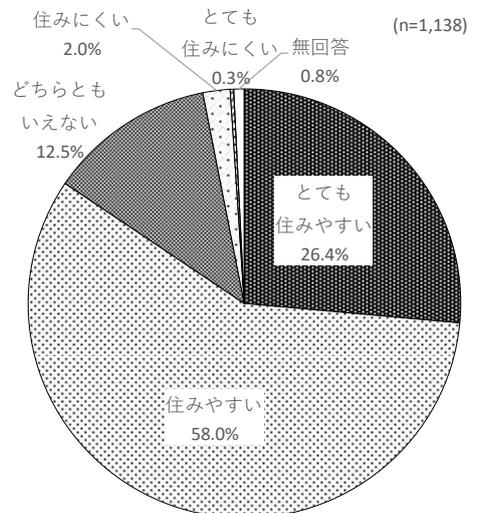
麻生区のイメージとしては、「坂道や階段が多い」(49.6%)、「長寿日本一のまち」(48.9%)がほぼ半数を占めている。次いで「緑地や公園が多い」(32.2%)、「新百合ヶ丘駅周辺の賑わいのあるまち」(31.0%)、「都内へのアクセスがよいベッドタウン」(29.9%)、「芸術・文化のまち」(27.2%)が3割前後を占めている。
(3つまで複数回答)



(2) 麻生区の住みやすさ

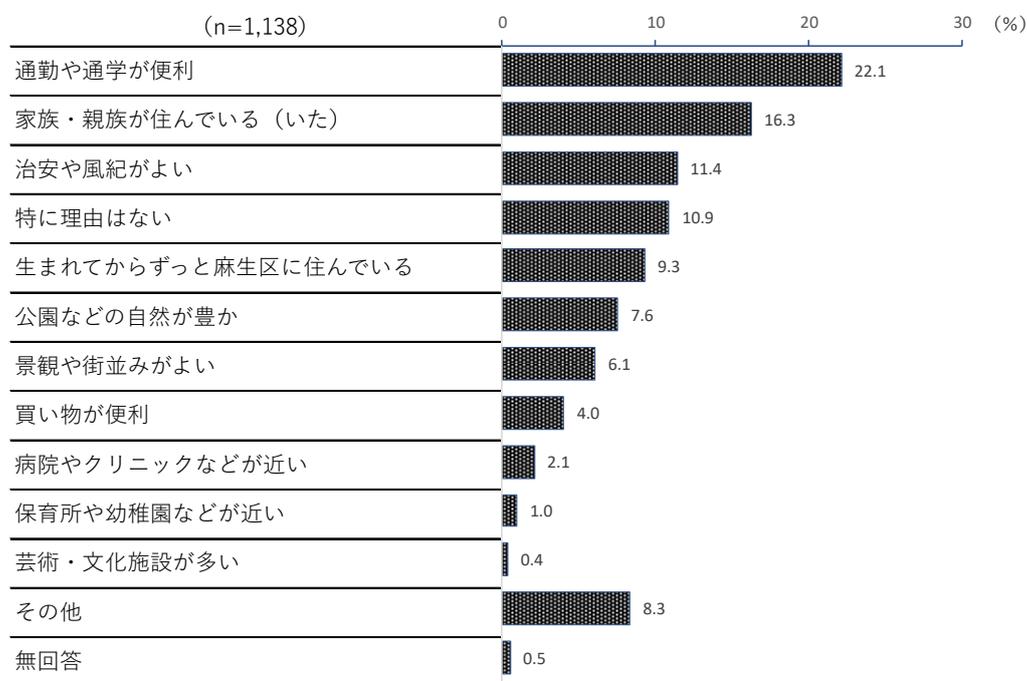
麻生区の住みやすさは、「とても住みやすい」(26.4%)、「住みやすい」(58.0%)で両者を合わせると8割を超えている。

一方、「住みにくい」(2.0%)、「とても住みにくい」(0.3%)は両者を合わせても2.3%に過ぎない。



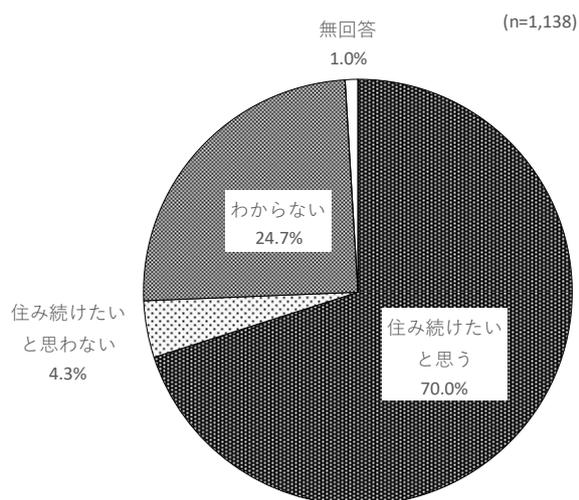
(3) 麻生区に住むことを選んだ理由や住み始める前のイメージ

麻生区に住むことを選んだ理由・住み始める前のイメージは、「通勤や通学が便利」(22.1%)が最も多く、次いで「家族・親族が住んでいる(いた)」(16.3%)、「治安や風紀がよい」(11.4%)、「特に理由はない」(10.9%)となっている。



(4) 定住意向

麻生区での定住意向をみると、「住みたいと思う」は70.0%を占める。次いで、「わからない」が24.7%となっている。一方、「住みたいと思わない」は4.3%と少ない。



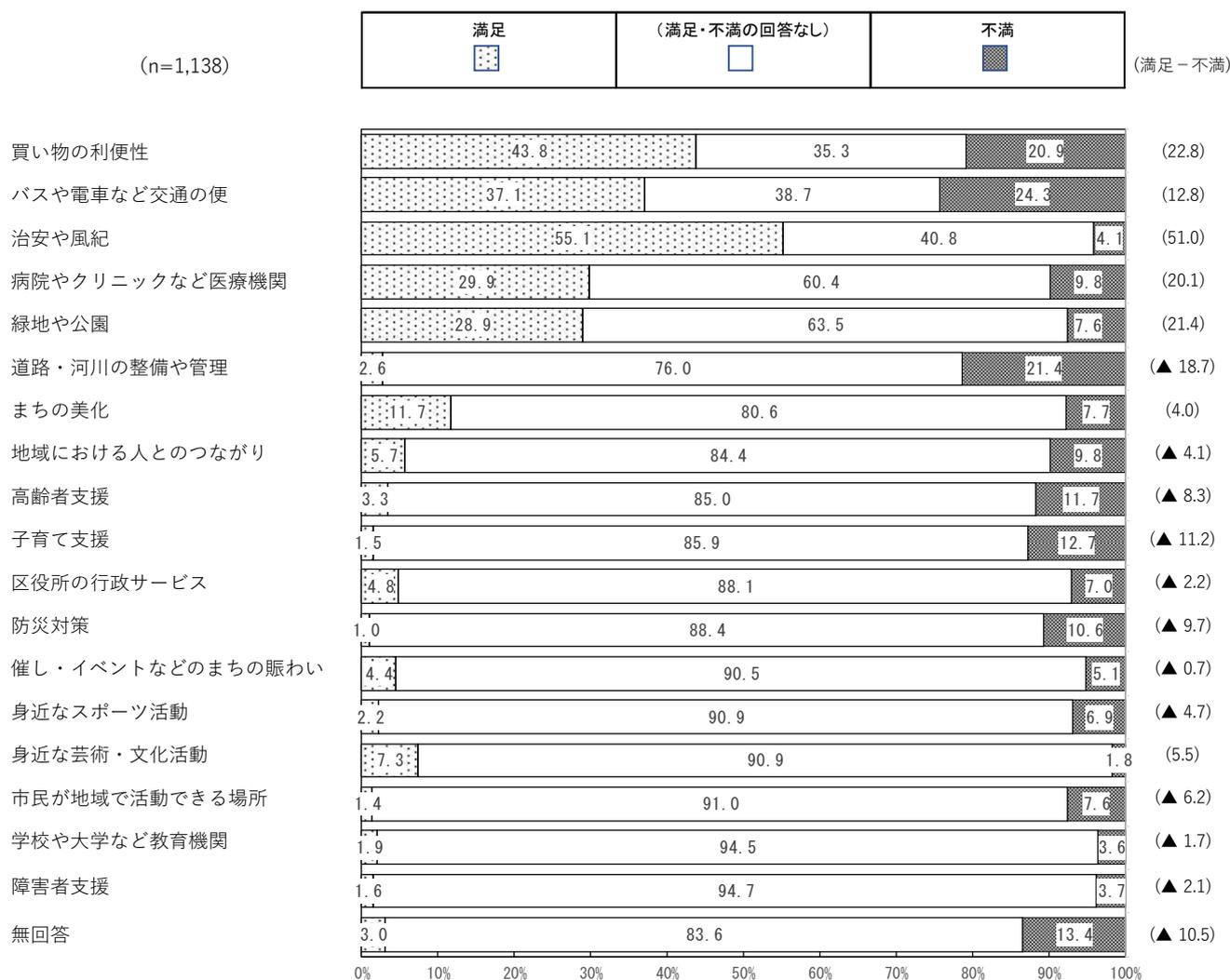
(5) 麻生区の生活での満足点・不満点

麻生区の生活で満足している点は、「治安や風紀」(55.1%)が最も多く、次いで「買い物の利便性」(43.8%)、「バスや電車など交通の便」(37.1%)、「病院やクリニックなど医療機関」(29.9%)、「緑地や公園」(28.9%)となっている。

一方、麻生区の生活で不満に思っている点は、「バスや電車など交通の便」(24.3%)が最も多く、次いで「道路・河川の整備や管理」(21.4%)、「買い物の利便性」(20.9%)、「子育て支援」(12.7%)、「高齢者支援」(11.7%)となっている。

麻生区の生活で満足点、不満点について、「満足」の比率と「不満」の比率との差をみると、「治安や風紀」(51.0ポイント)がプラスで最も大きく、満足が不満を大きく上回っている。次いで「買い物の利便性」(22.8ポイント)で、満足が不満を上回っているものの「不満」(20.9%)も少なくない。さらに、「緑地や公園」(21.4ポイント)、「病院やクリニックなど医療機関」(20.1ポイント)となっている。

一方、「道路・河川の整備や管理」(▲ 18.7ポイント)がマイナスで最も大きく、次いで「子育て支援」(▲ 11.2ポイント)、「防災対策」(▲ 9.7ポイント)、「高齢者支援」(▲ 8.3ポイント)で、不満が満足を上回っている。
(満足点・不満点それぞれ3つまで複数回答)



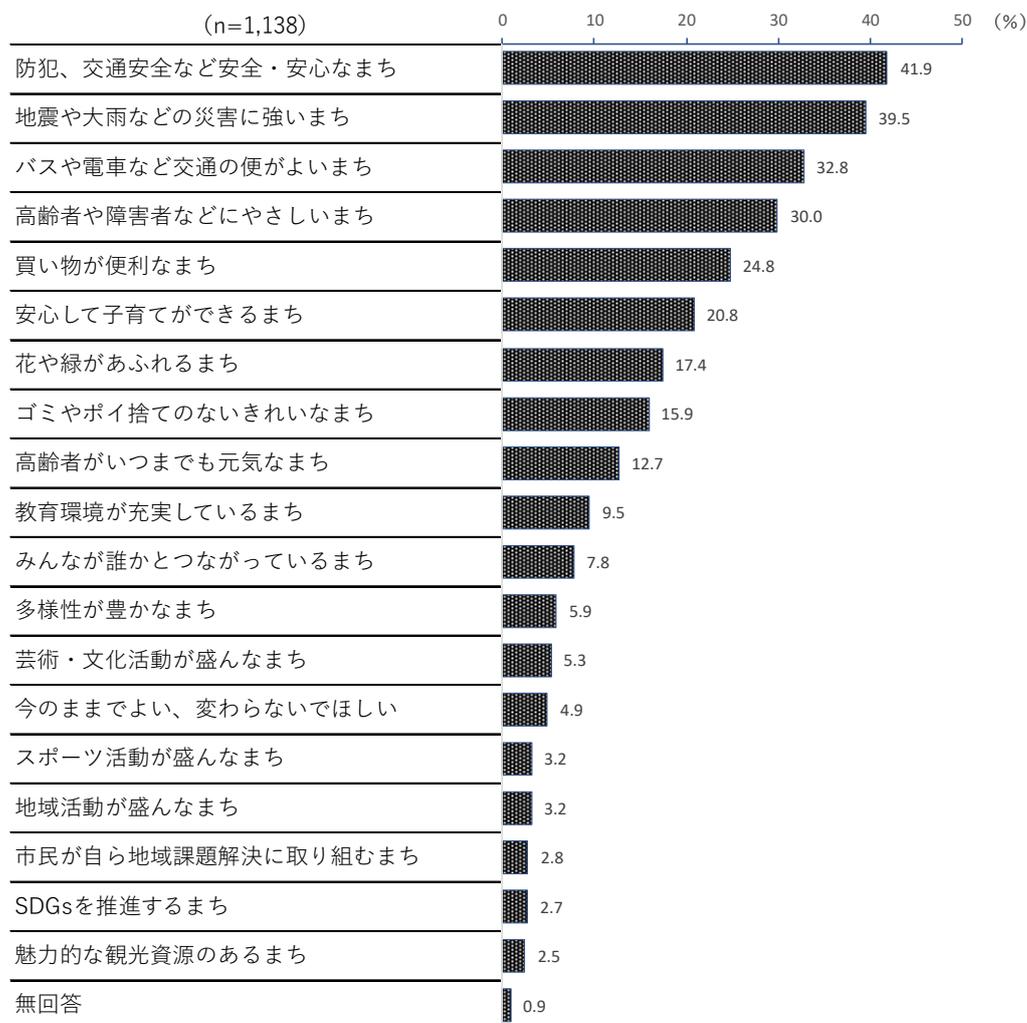
※「満足」と「不満」の回答数の和が大きい順に示した。

※(満足 - 不満)は、「満足」の比率と「不満」の比率との差を表す。

(6) 麻生区がどのようなまちになってほしいか

麻生区がこれから(おおよそ10年後)にどのようなまちになってほしいかを聞いたところ、「防犯、交通安全など安全・安心なまち」(41.9%)が最も多く、次いで「地震や大雨などの災害に強いまち」(39.5%)、「バスや電車など交通の便がよいまち」(32.8%)が3割を超え、さらに、「高齢者や障害者などにやさしいまち」(30.0%)、「買い物が便利なまち」(24.8%)、「安心して子育てができるまち」(20.8%)が2割を超えている。

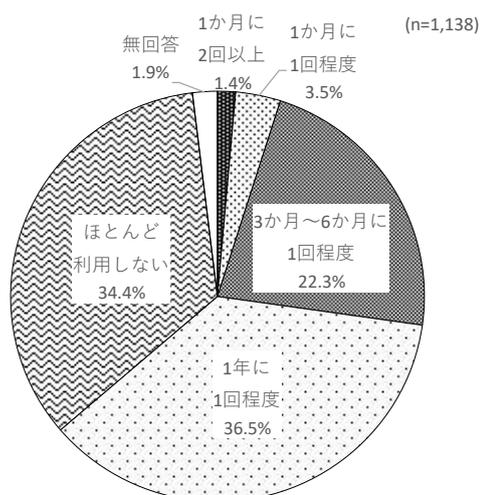
(3つまで複数回答)



2. 麻生区役所について

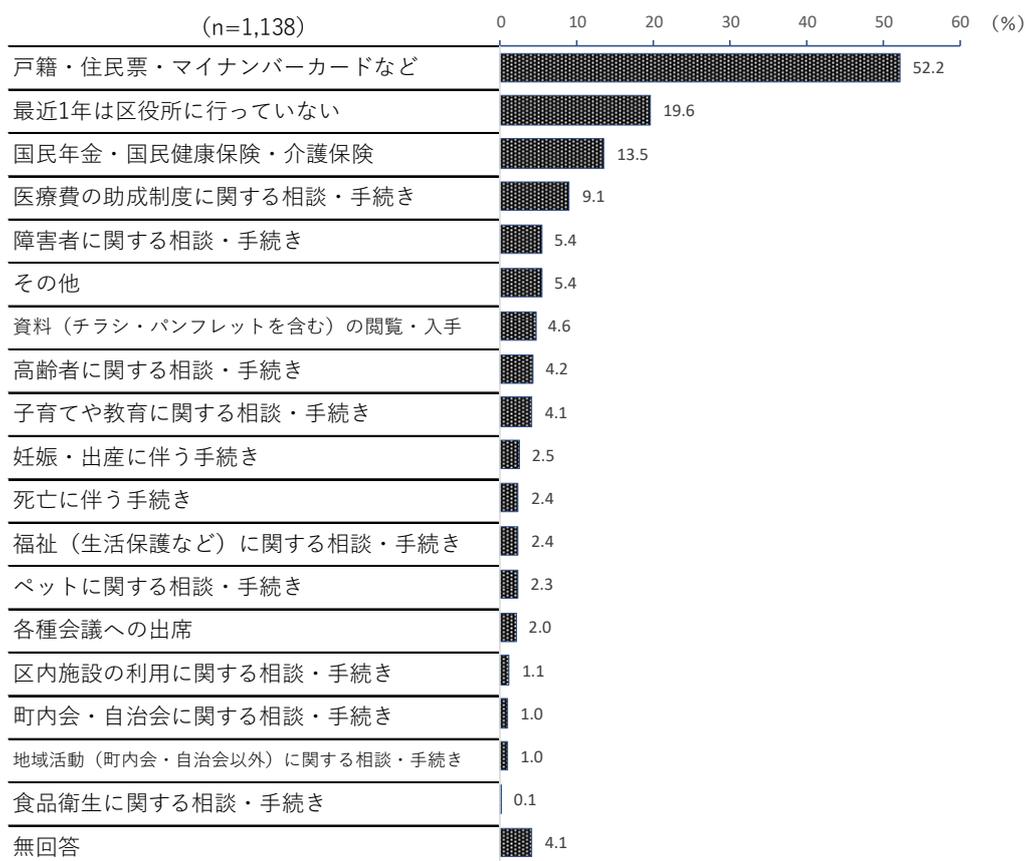
(1) 麻生区役所の利用頻度

麻生区役所の利用頻度をみると、「1年に1回程度」(36.5%)が最も多く、次いで、「ほとんど利用しない」(34.4%)、「3か月～6か月に1回程度」(22.3%)となっている。



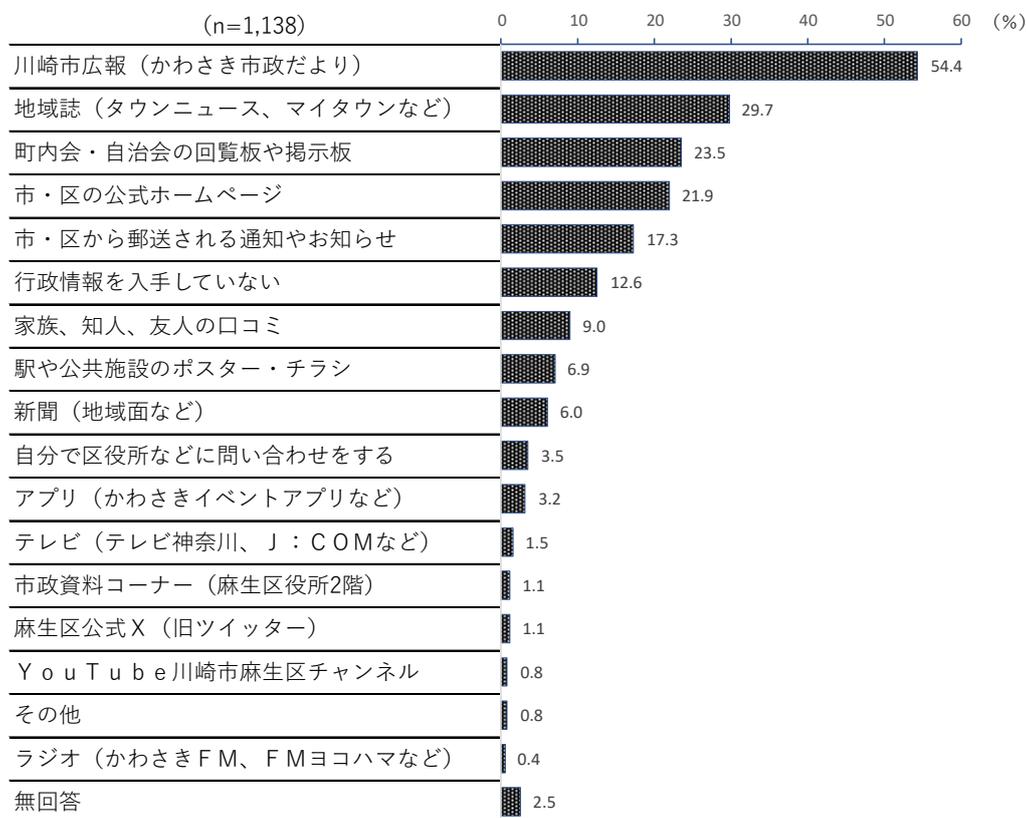
(2) 麻生区役所の利用目的

麻生区役所の利用目的は、「戸籍・住民票・マイナンバーカードなど」(52.2%)が過半数を占め最も多く、次いで「最近1年は区役所に行っていない」(19.6%)となっている。さらに、「国民年金・国民健康保険・介護保険」(13.5%)、「医療費の助成制度に関する相談・手続き」(9.1%)となっている。(複数回答)



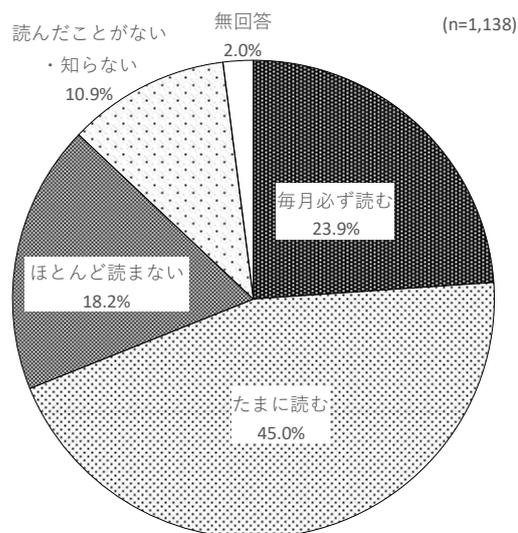
(3) 行政情報の入手手段

行政情報の入手手段は、「川崎市広報(かわさき市政だより)」(54.4%)が過半数を占め最も多く、次いで「地域誌(タウンニュース、マイタウンなど)」(29.7%)、「町内会・自治会の回覧板や掲示板」(23.5%)、「市・区の公式ホームページ」(21.9%)が2割を超えている。(3つまで複数回答)



(4) かわさき市政だよりの購読状況

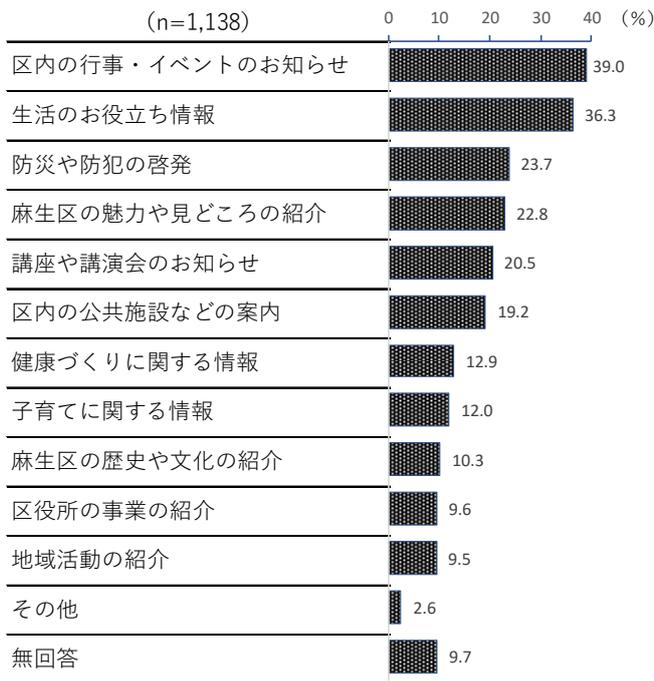
かわさき市政だよりの購読状況を見ると、「たまに読む」(45.0%)が最も多く、次いで、「毎月必ず読む」(23.9%)、「ほとんど読まない」(18.2%)となっている。



(5) かわさき市政だよりで
取り上げてほしいテーマ

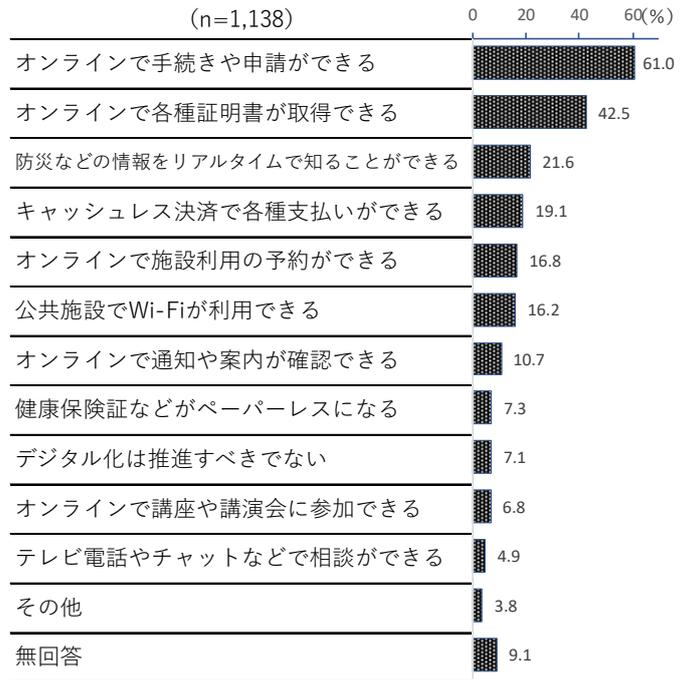
かわさき市政だよりで取り上げてほしいテーマは、「区内の行事・イベントのお知らせ」(39.0%)、「生活のお役立ち情報」(36.3%)が3割を超えるほか、「防災や防犯の啓発」(23.7%)、「麻生区の魅力や見どころの紹介」(22.8%)、「講座や講演会のお知らせ」(20.5%)が2割を超えている。

(3つまで複数回答)



(6) 行政サービスのデジタル化への期待

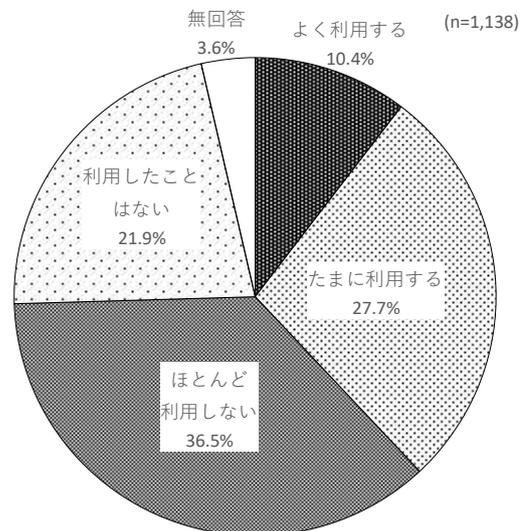
行政サービスのデジタル化に期待することは、「オンラインで手続きや申請ができる」(61.0%)が6割を超え最も多く、次いで、「オンラインで各種証明書が取得できる」(42.5%)、「防災などの情報をリアルタイムで知ることができる」(21.6%)、「キャッシュレス決済で各種支払いができる」(19.1%)となっている。(3つまで複数回答)



3. 麻生区内の市民利用施設について

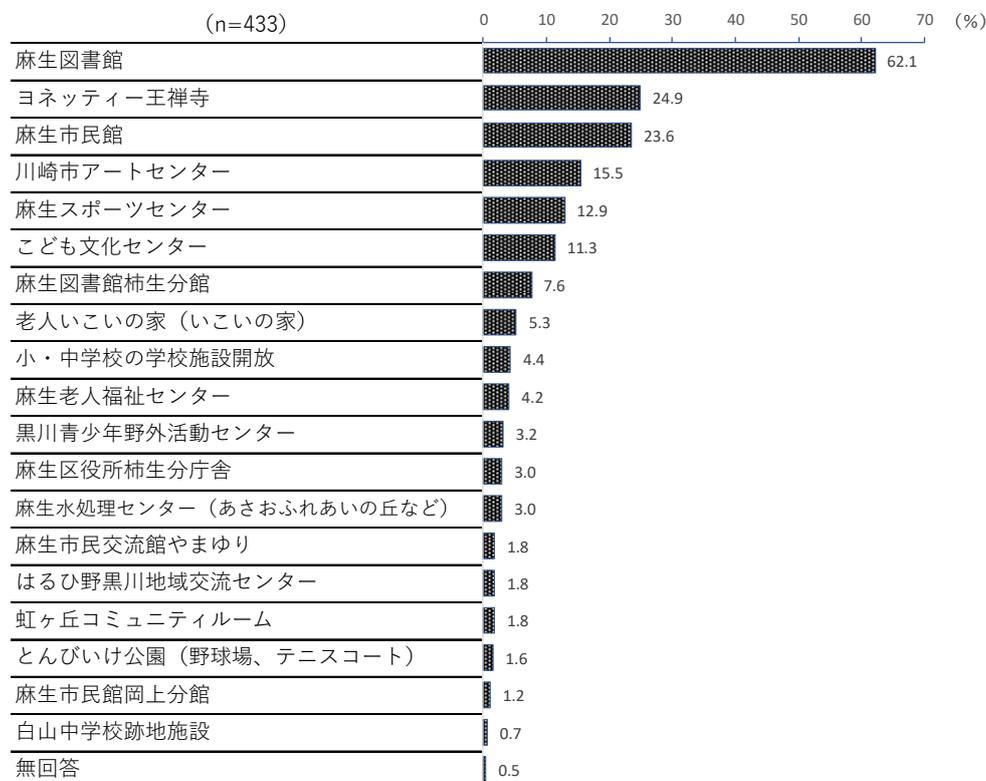
(1) 麻生区内の市民利用施設の利用状況

麻生区内の市民利用施設の利用状況は、「ほとんど利用しない」(36.5%)が最も多く、「利用したことはない」(21.9%)と合わせると6割弱を占める。一方、「たまに利用する」(27.7%)、「よく利用する」(10.4%)を合わせると4割弱に過ぎない。



(2) 利用する施設

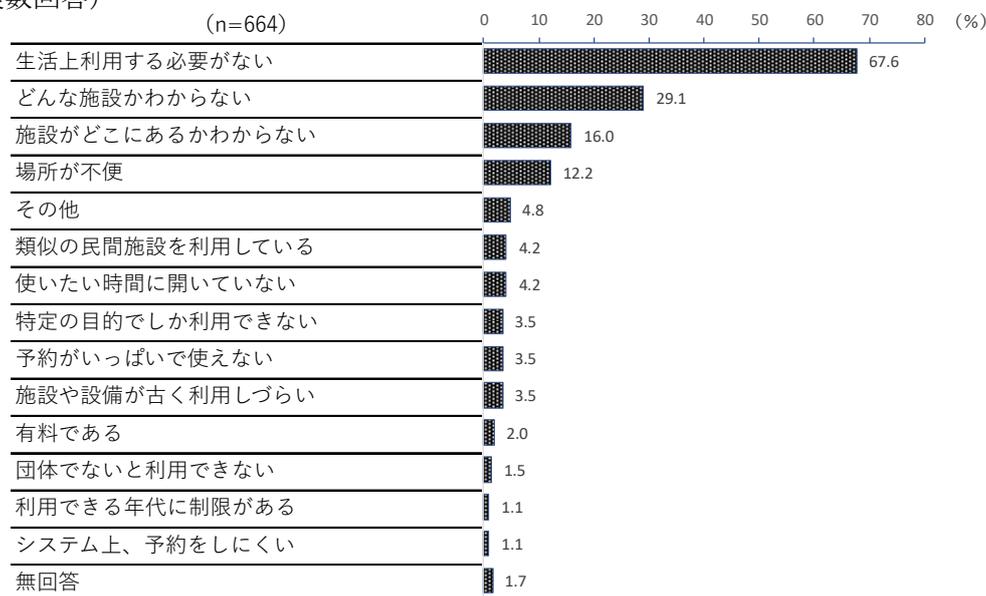
麻生区内の市民利用施設の利用状況で「よく利用する」、「たまに利用する」と回答した方(433人)に、利用する施設を聞いたところ、「麻生図書館」(62.1%)が最も多く、次いで、「ヨネッティー王禅寺」(24.9%)、「麻生市民館」(23.6%)が2割を超えている。(3つまで複数回答)



(3) 利用しない理由

麻生区内の市民利用施設の利用状況で「ほとんど利用しない」、「利用したことはない」と回答した方(664人)に、利用しない理由を聞いたところ、「生活上利用する必要がない」(67.6%)が最も多く、次いで、「どんな施設かわからない」(29.1%)、「施設がどこにあるかわからない」(16.0%)、「場所が不便」(12.2%)となっている。

(3つまで複数回答)

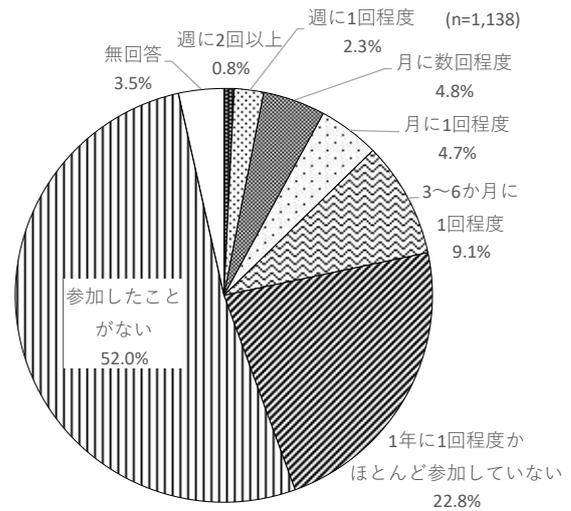


4. 地域活動について

(1) 地域活動の参加頻度

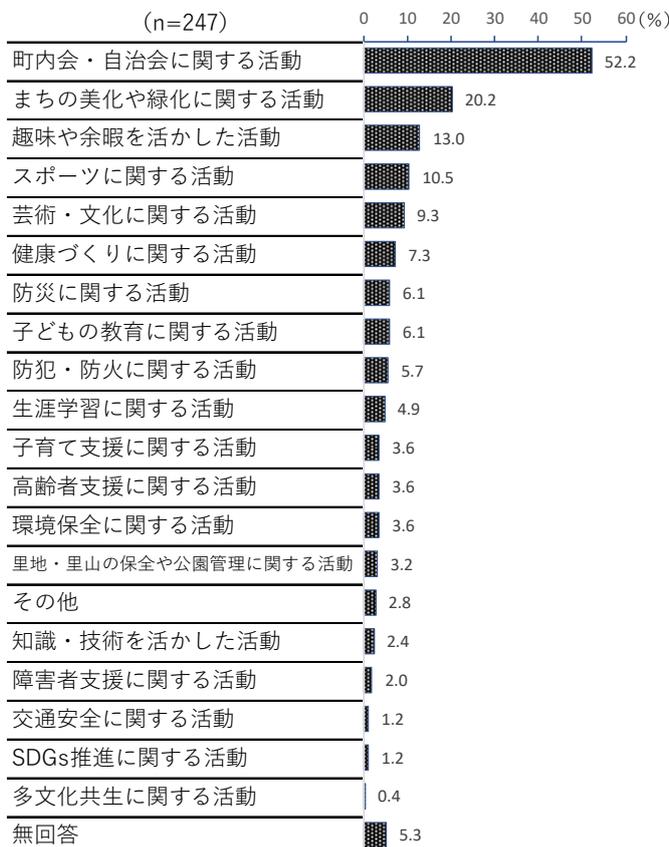
地域活動の参加頻度を見ると、概ね参加頻度が高くなるほど少なくなる傾向にある。

「3～6 か月に 1 回程度」以上の頻度での参加を合わせても 2 割程度に過ぎないが、「参加したことがない」(52.0%)は過半数を占め、「1 年に 1 回程度かほとんど参加していない」(22.8%)と合わせると全体の 4 分の 3 程度を占める。



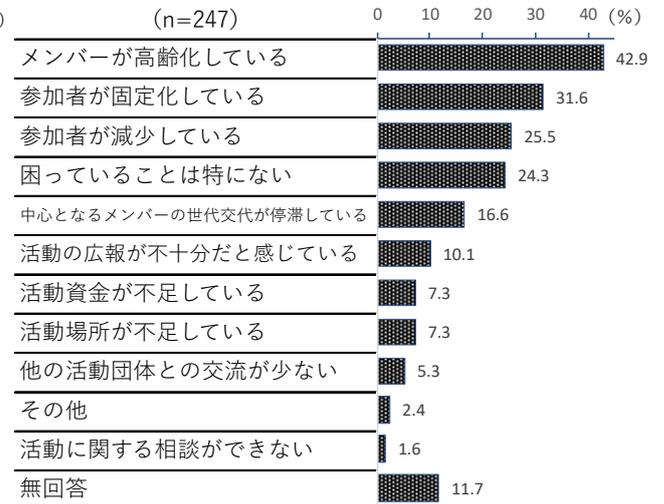
(2) 地域活動の分野

地域活動の参加頻度で「参加したことがない」、「1年に1回程度かほとんど参加していない」以外を回答した方(247人)に、参加している地域活動の分野を聞いたところ、「町内会・自治会に関する活動」(52.2%)が過半数を占めて最も多く、次いで、「まちの美化や緑化に関する活動」(20.2%)、「趣味や余暇を活かした活動」(13.0%)、「スポーツに関する活動」(10.5%)となっている。(複数回答)



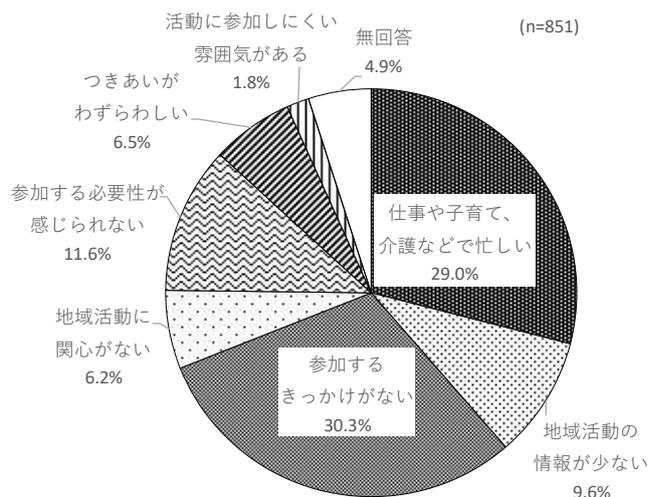
(3) 地域活動で困っている事

地域活動の参加頻度で「参加したことがない」、「1年に1回程度かほとんど参加していない」以外を回答した方(247人)に、地域活動で困っている事を聞いたところ、「メンバーが高齢化している」(42.9%)が最も多く、次いで、「参加者が固定化している」(31.6%)、「参加者が減少している」(25.5%)となっている。一方、「困っていることは特にない」(24.3%)が2割を超えている。(複数回答)



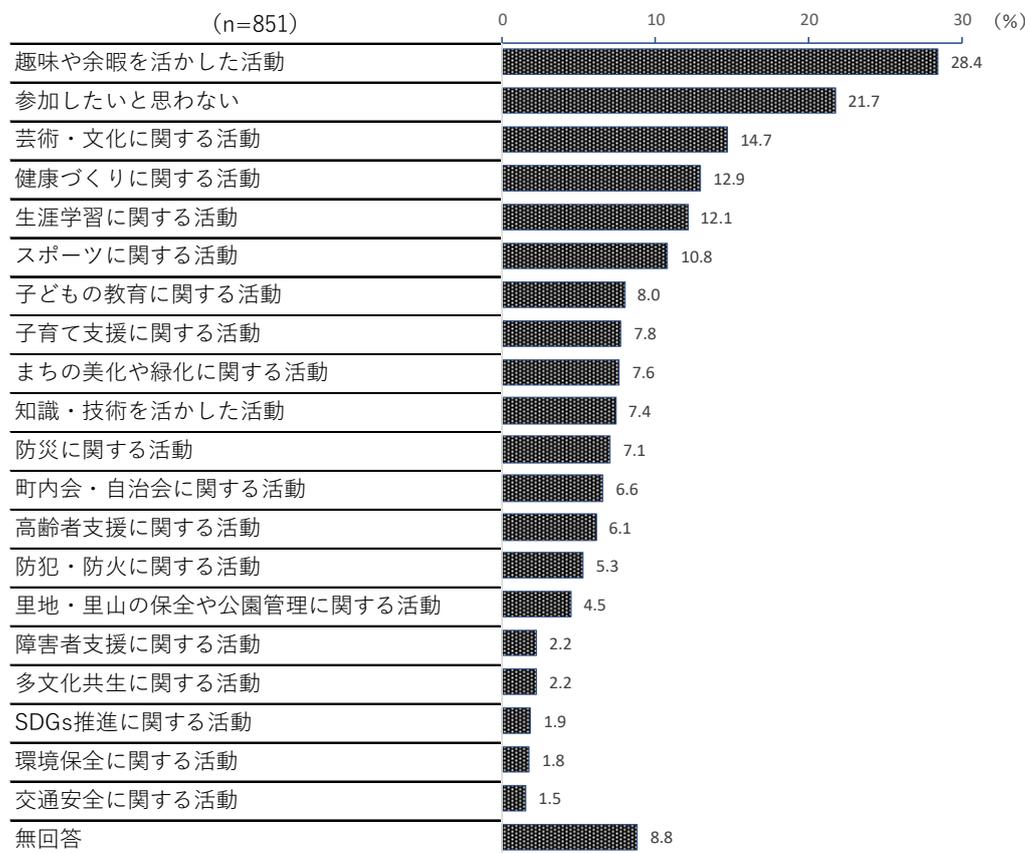
(4) 地域活動に参加しない理由

地域活動の参加頻度で「参加したことがない」、「1年に1回程度かほとんど参加していない」と回答した方(851人)に、地域活動に参加しない理由を聞いたところ、「参加するきっかけがない」(30.3%)が3割を超え最も多く、次いで、「仕事や子育て、介護などで忙しい」(29.0%)となっている。



(5) 参加したい地域活動

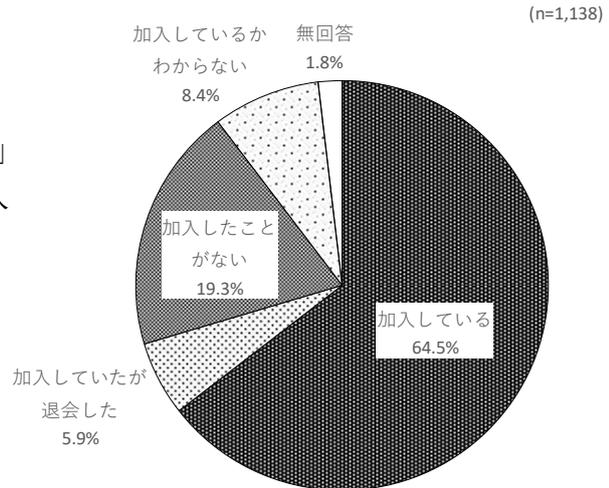
地域活動の参加頻度で「参加したことがない」、「1年に1回程度かほとんど参加していない」と回答した方(851人)に、参加したい地域活動を聞いたところ、「趣味や余暇を活かした活動」(28.4%)が最も多いが、「参加したいと思わない」(21.7%)も2割を超えている。このほか、「芸術・文化に関する活動」(14.7%)、「健康づくりに関する活動」(12.9%)、「生涯学習に関する活動」(12.1%)、「スポーツに関する活動」(10.8%)となっている。(3つまで複数回答)



5. 町内会・自治会について

(1) 町内会・自治会の加入状況

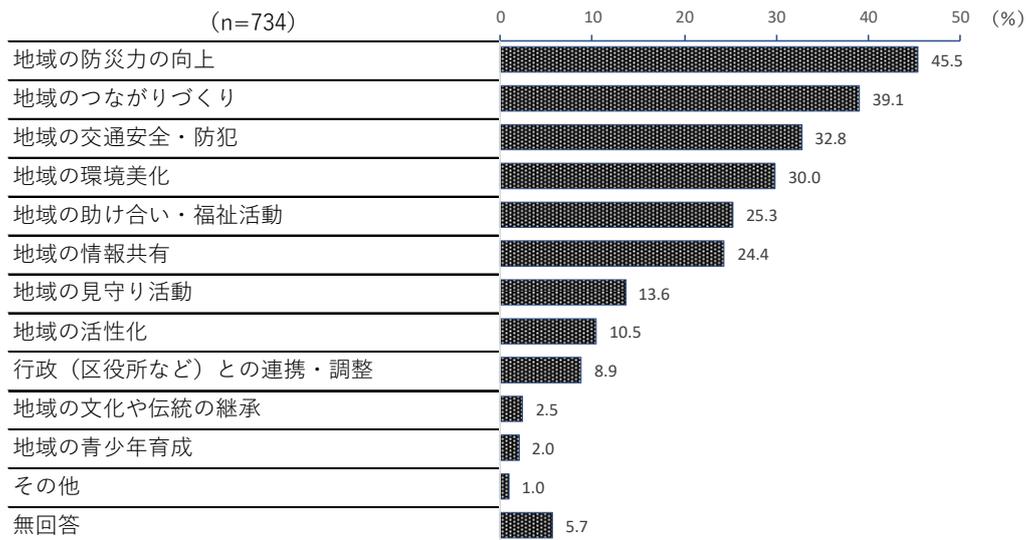
町内会・自治会の加入状況は、「加入している」(64.5%)が過半数を占め最も多く、次いで、「加入したことがない」(19.3%)となっている。



(2) 町内会・自治会として重要な機能

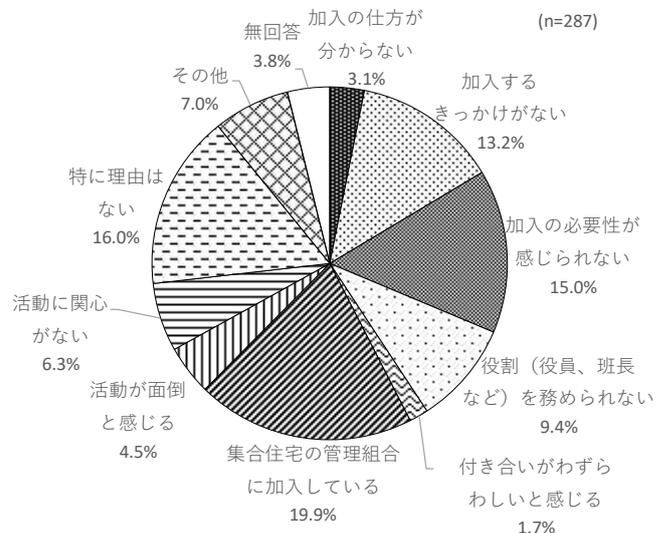
町内会・自治会の加入状況で「加入している」と回答した方(734人)に、町内会・自治会の機能として重要な機能を聞いたところ、「地域の防災力の向上」(45.5%)が4割を超え最も多く、次いで、「地域のつながりづくり」(39.1%)、「地域の交通安全・防犯」(32.8%)が3割を超えている。

(3つまで複数回答)



(3) 町内会・自治会に加入していない理由

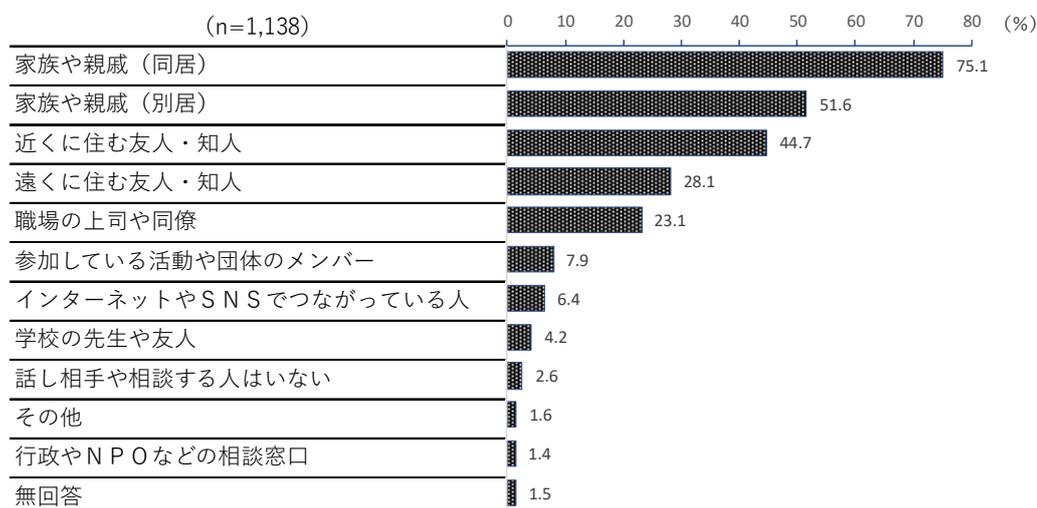
町内会・自治会の加入状況で「加入していたが退会した」、「加入したことがない」と回答した方(287人)に、町内会・自治会に加入していない理由を聞いたところ、「集合住宅の管理組合に加入している」(19.9%)が最も多く、次いで、「特に理由はない」(16.0%)、「加入の必要性が感じられない」(15.0%)、「加入するきっかけがない」(13.2%)となっている。



6. 暮らし、生活について

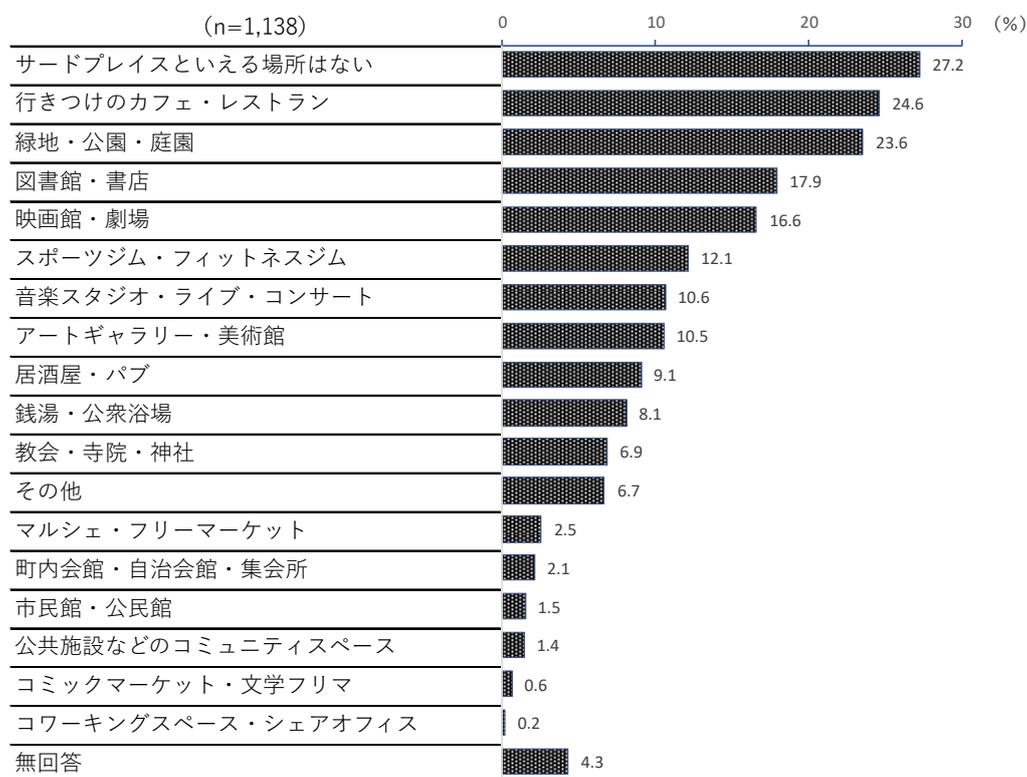
(1) 話し相手や相談できる人の有無

日常的な話し相手や困りごとを相談できる人としては、「家族や親戚(同居)」(75.1%)が最も多く、「家族や親戚(別居)」(51.6%)も過半数を占めるほか、「近くに住む友人・知人」(44.7%)、「遠くに住む友人・知人」(28.1%)、「職場の上司や同僚」(23.1%)となっている。(複数回答)



(2) サードプレイスについて

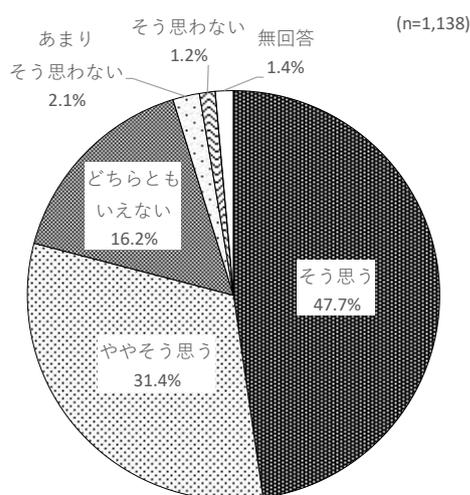
サードプレイスとしては、「サードプレイスといえる場所はない」(27.2%)が最も多く、次いで、「行きつけのカフェ・レストラン」(24.6%)、「緑地・公園・庭園」(23.6%)が2割を超えている。(複数回答)



(3) 社会とのつながりの影響について

社会とのつながりが人生の幸福感、生活の充実感や心身の健康に良い影響があると思うか聞いたところ、「そう思う」(47.7%)、「ややそう思う」(31.4%)となり、両者を合わせた肯定的な回答がほぼ8割を占める。

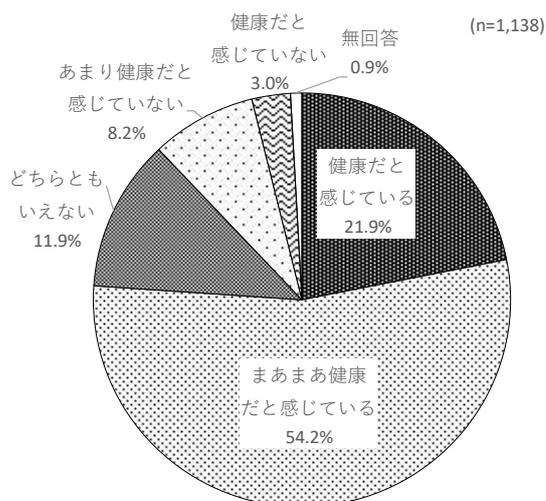
一方、「あまりそう思わない」(2.1%)、「そう思わない」(1.2%)を合わせた否定的な回答は3.3%に過ぎない。



(4) 健康状態について

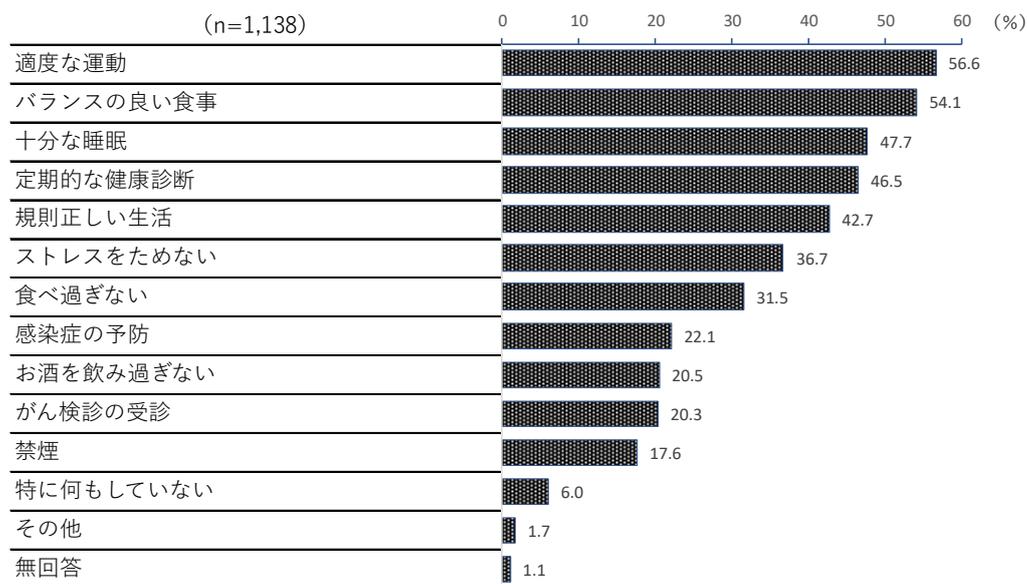
自分の健康状態は、「まあまあ健康だと感じている」(54.2%)が過半数を占め最も多く、次いで、「健康だと感じている」(21.9%)となり、両者を合わせると全体の4分の3を占める。

一方、「あまり健康だと感じていない」(8.2%)、「健康だと感じていない」(3.0%)であり、両者を合わせると1割を超えている。



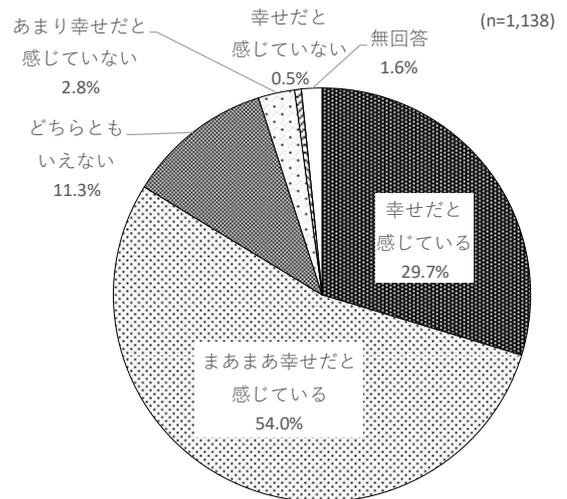
(5) 健康のために意識して行っていること

健康のために意識して行っていることは、「適度な運動」(56.6%)、「バランスの良い食事」(54.1%)が過半数を占め、さらに、「十分な睡眠」(47.7%)、「定期的な健康診断」(46.5%)、「規則正しい生活」(42.7%)が4割を超えている。(複数回答)



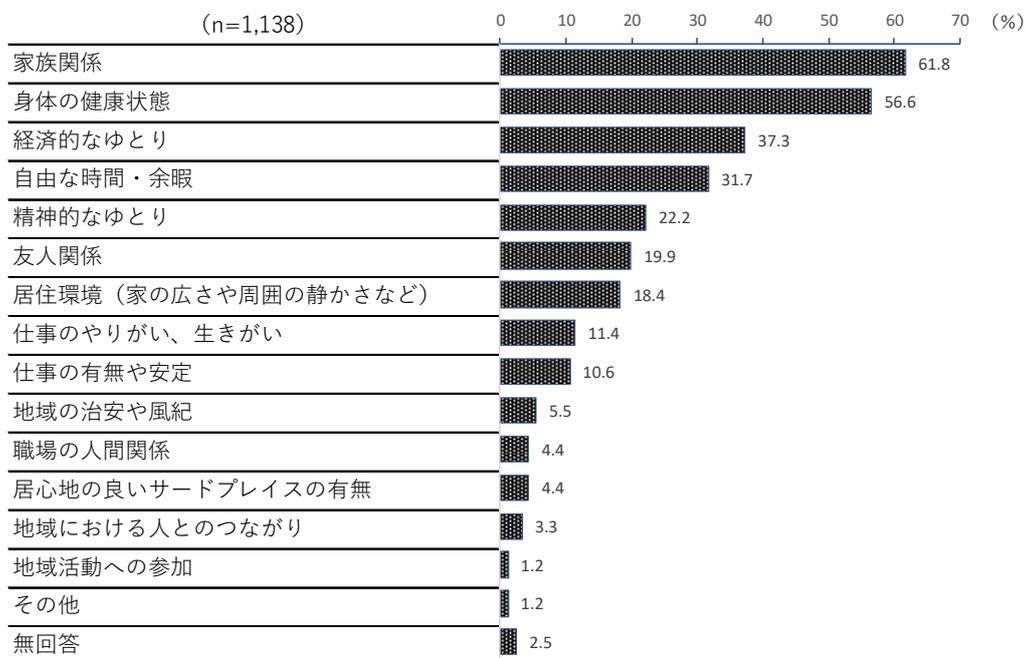
(6) 現在の生活での幸福感

現在の生活での幸福感は、「まあまあ幸せだと感じている」(54.0%)が過半数を占め最も多く、次いで、「幸せだと感じている」(29.7%)となり、両者を合わせると8割を超えている。



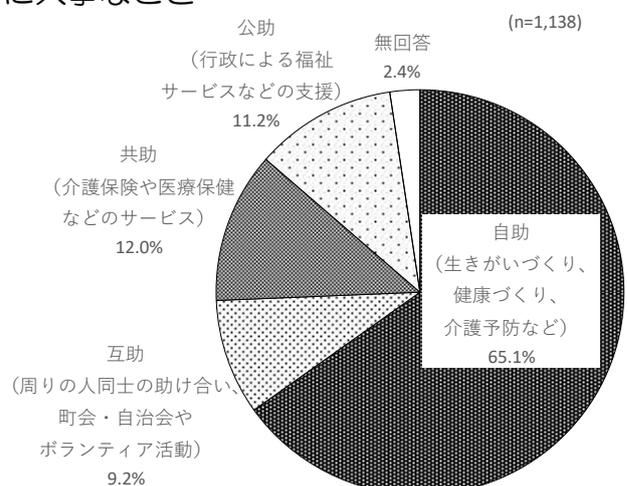
(7) 幸せだと感じる要因

幸せだと感じる要因として影響が大きいものは、「家族関係」(61.8%)が6割を超えて最も多く、次いで、「身体の状態」(56.6%)が過半数を占めるほか、「経済的なゆとり」(37.3%)、「自由な時間・余暇」(31.7%)が3割を超えている。(3つまで複数回答)



(8) 自分らしく生き生きと暮らしていくために大事なこと

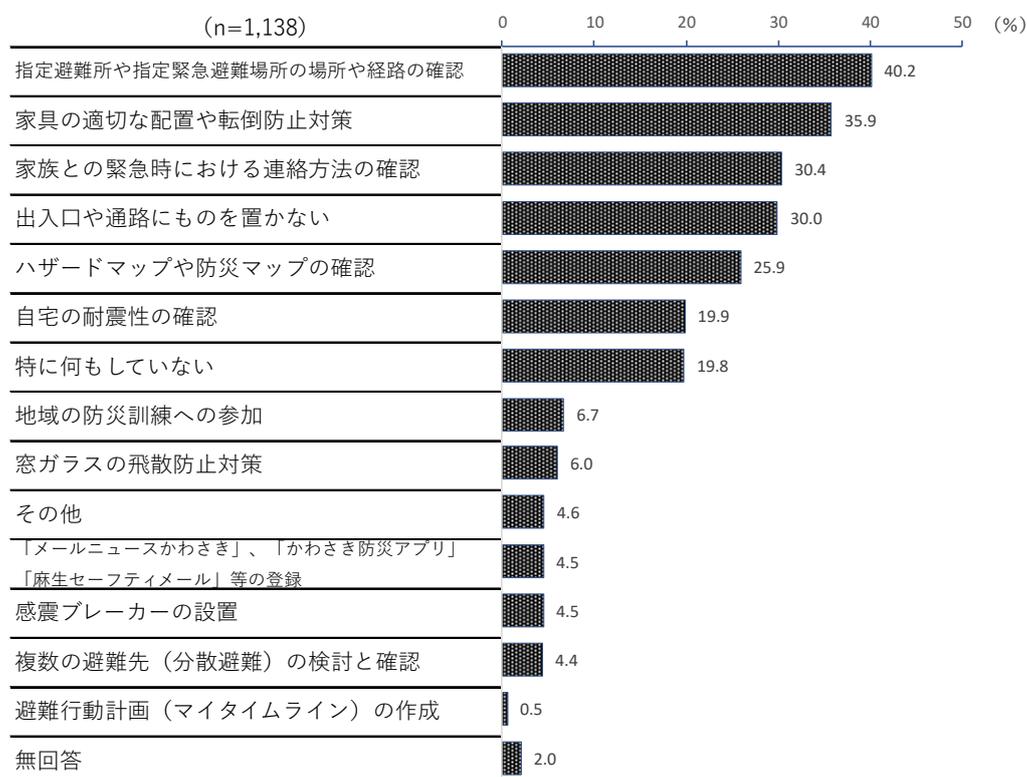
住み慣れた地域の中で、自分らしく生き生きと暮らしていくために大事なことは、「自助(生きがいづくり、健康づくり、介護予防など)」(65.1%)が6割を超えて最も多く、次いで、「共助(介護保険や医療保健などのサービス)」(12.0%)、「公助(行政による福祉サービスなどの支援)」(11.2%)、「互助(周りの人同士の助け合い、町会・自治会やボランティア活動)」(9.2%)となっている。



7. 災害への備えについて

(1) 家庭内での災害への備え

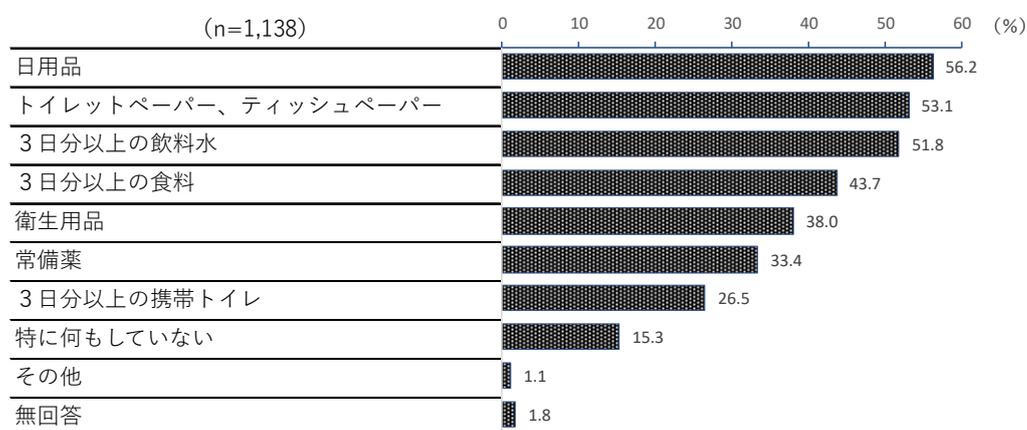
災害に備えて家庭内で取組んでいることは、「指定避難所や指定緊急避難場所の場所や経路の確認」(40.2%)が4割を超えて最も多く、次いで、「家具の適切な配置や転倒防止対策」(35.9%)、「家族との緊急時における連絡方法の確認」(30.4%)が3割を超えている。(複数回答)



(2) 家庭内での備蓄

災害に備えて家庭内で備蓄しているものは、「日用品」(56.2%)、「トイレトーパー、ティッシュペーパー」(53.1%)、「3日分以上の飲料水」(51.8%)が過半数を占めるほか、「3日分以上の食料」(43.7%)で4割を超え、「衛生用品」(38.0%)、「常備薬」(33.4%)が3割を超えている。

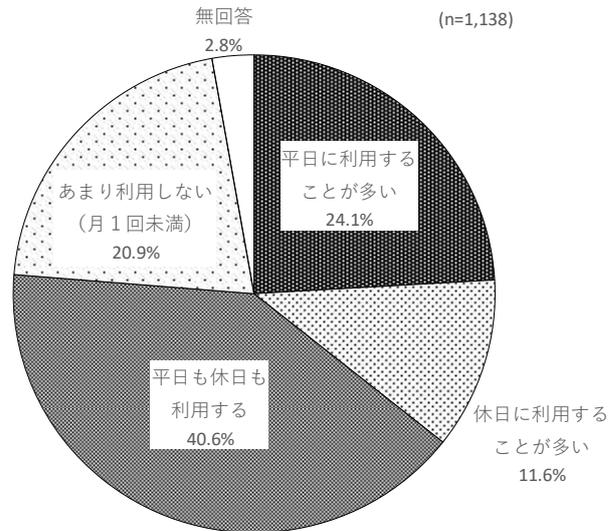
一方、「特に何もしていない」(15.3%)は1割を超えている。(複数回答)



8. 新百合ヶ丘駅周辺のまちづくりについて

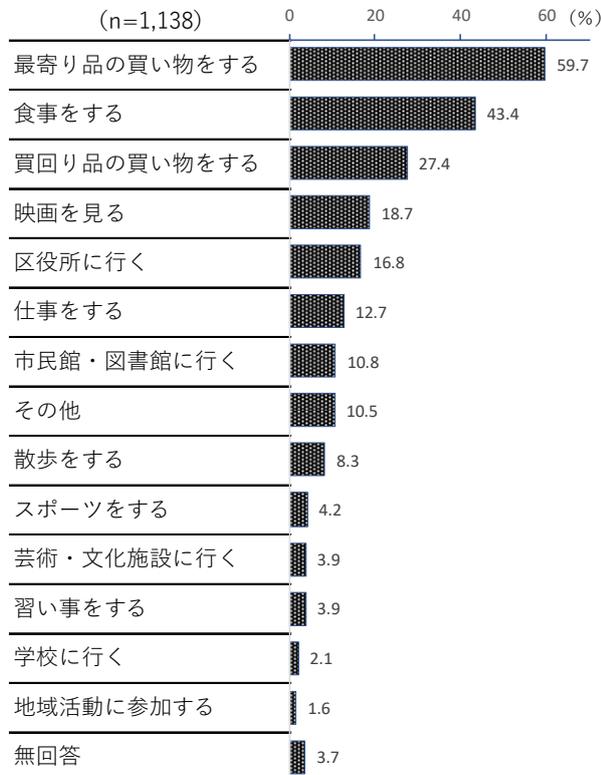
(1) 新百合ヶ丘駅の利用状況

新百合ヶ丘駅の利用状況は、「平日も休日も利用する」(40.6%)が最も多く、次いで、「平日に利用することが多い」(24.1%)、「あまり利用しない(月1回未満)」(20.9%)となっている。



(2) 新百合ヶ丘駅の利用目的

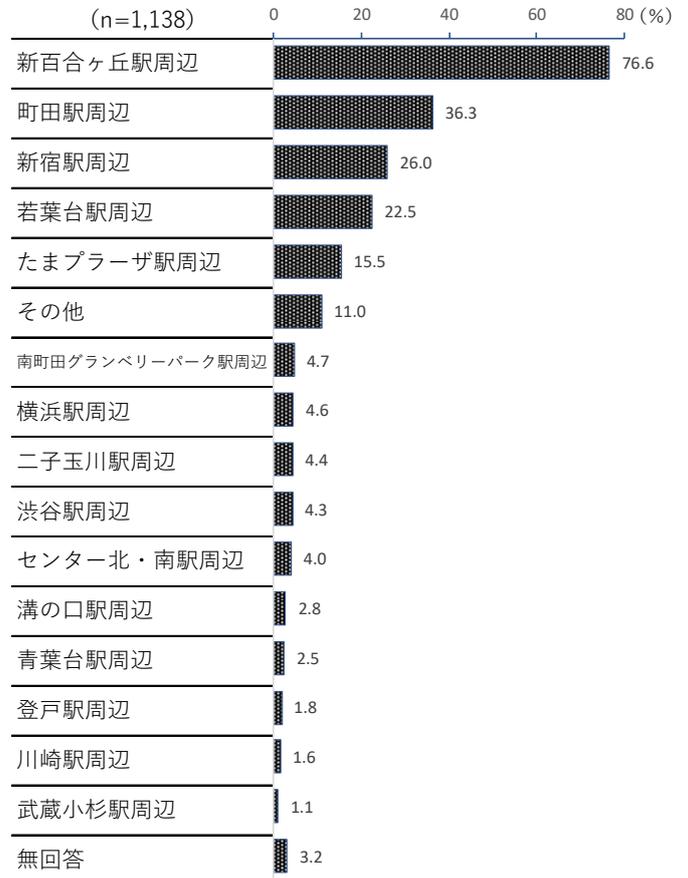
新百合ヶ丘駅の利用目的は、「最寄り品の買い物をする」(59.7%)が過半数を占め最も多く、次いで、「食事をする」(43.4%)、「買回り品の買い物をする」(27.4%)となっている。(3つまで複数回答)



(3) 買い物やレジャーで行く場所

買い物やレジャーで行くことが多い場所は、「新百合ヶ丘駅周辺」(76.6%)で最も多く、次いで、「町田駅周辺」(36.3%)、「新宿駅周辺」(26.0%)、「若葉台駅周辺」(22.5%)となっている。

(3つまで複数回答)



(4) 新百合ヶ丘駅周辺の状況について

新百合ヶ丘駅周辺の状況の満足度を、「満足・やや満足」と「やや不満・不満」の対比でみると、『① 自動車・バス等の交通環境』は、「やや不満・不満」(35.3%)が「満足・やや満足」(25.2%)を上回っている。

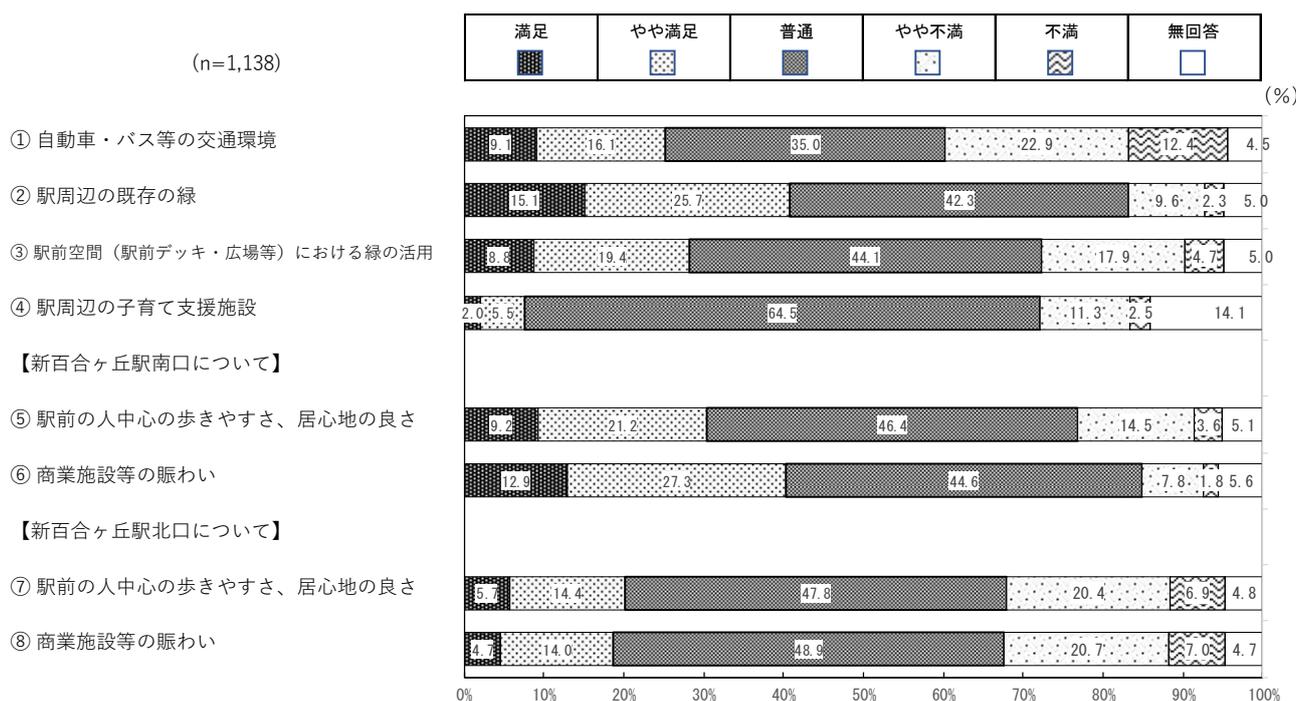
『② 駅周辺の既存の緑』は、「満足・やや満足」(40.9%)が「やや不満・不満」(11.9%)を上回っている。

『③ 駅前空間(駅前デッキ・広場等)における緑の活用』は、「満足・やや満足」(28.2%)が「やや不満・不満」(22.7%)を若干上回っている。

『④ 駅周辺の子育て支援施設』は、「やや不満・不満」(13.8%)が「満足・やや満足」(7.6%)を上回っている。

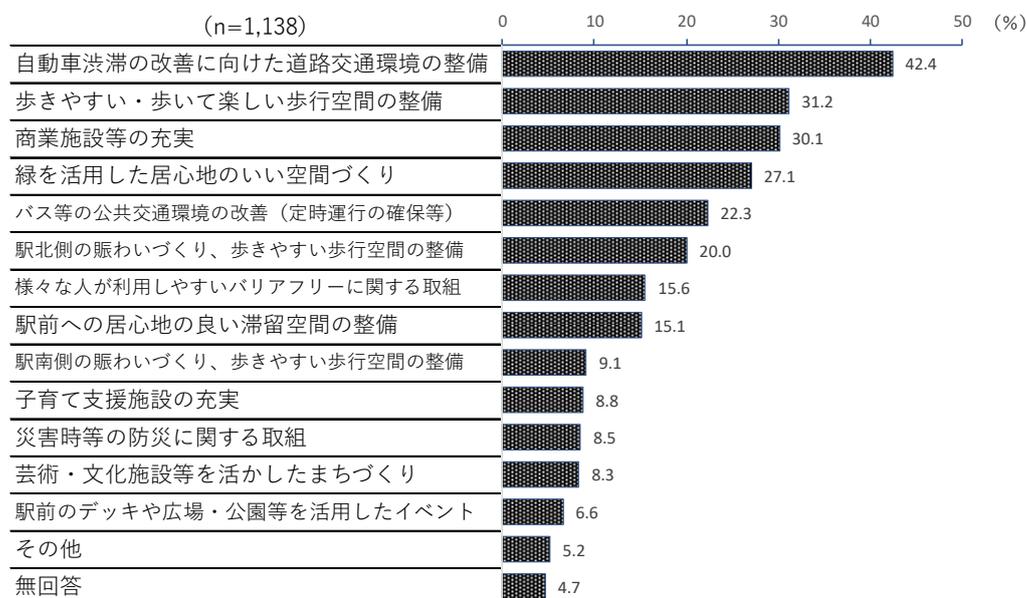
新百合ヶ丘駅南口について、『⑤ 駅前の人中心の歩きやすさ、居心地の良さ』は、「満足・やや満足」(30.4%)が「やや不満・不満」(18.1%)を上回っている。また、『⑥ 商業施設等の賑わい』は、「満足・やや満足」(40.2%)が「やや不満・不満」(9.6%)を上回っており、南口の満足度は概ね良好である。

新百合ヶ丘駅北口について、『⑦ 駅前の人中心の歩きやすさ、居心地の良さ』は、「やや不満・不満」(27.2%)が「満足・やや満足」(20.1%)を上回っている。また、『⑧ 商業施設等の賑わい』は、「やや不満・不満」(27.7%)が「満足・やや満足」(18.6%)を上回っており、北口の満足度は必ずしも良好とはいえない。



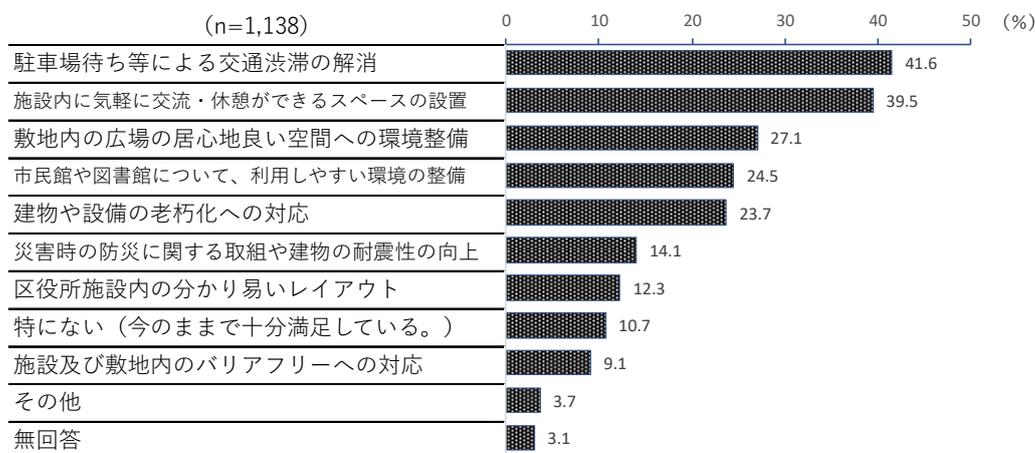
(5) 新百合ヶ丘駅周辺のまちづくりで重点的に取り組んで欲しいこと

新百合ヶ丘駅周辺のまちづくりで重点的に取り組んで欲しいことは、「自動車渋滞の改善に向けた道路交通環境の整備」(42.4%)が4割を超え最も多く、次いで、「歩きやすい・歩いて楽しい歩行空間の整備」(31.2%)、「商業施設等の充実」(30.1%)が3割を超えるほか、「緑を活用した居心地のいい空間づくり」(27.1%)、「バス等の公共交通環境の改善(定時運行の確保等)」(22.3%)、「駅北側の賑わいづくり、歩きやすい歩行空間の整備」(20.0%)が2割を超えている。(3つまで複数回答)



(6) 新百合ヶ丘駅周辺の公共施設で重点的に取り組んで欲しいこと

新百合ヶ丘駅周辺の公共施設で重点的に取り組んで欲しいことは、「駐車場待ち等による交通渋滞の解消」(41.6%)が4割を超え最も多く、次いで、「施設内に気軽に交流・休憩ができるスペースの設置」(39.5%)が3割を超えるほか、「敷地内の広場の居心地良い空間への環境整備」(27.1%)、「市民館や図書館について、利用しやすい環境の整備」(24.5%)、「建物や設備の老朽化への対応」(23.7%)が2割を超えている。(3つまで複数回答)



9. 自由意見

自由意見は 480 人より回答が得られた。その内訳は、「公園・緑地・河川・道路の整備等」(179 件)が最も多く、次いで「行政全般(災害対策、計画、制度等)」(125 件)、「バス・鉄道などの交通機関」(96 件)と続いている。

項 目	件数
公園・緑地・河川・道路の整備等	179
行政全般(災害対策、計画、制度等)	125
バス・鉄道などの交通機関	96
交通渋滞、交通ルールやマナー	64
商業施設	58
子育て支援	48
高齢者支援	34
生活環境(住みやすさ等)	33

麻生区区民アンケート 概要版

令和7(2025)年1月

川崎市麻生区役所まちづくり推進部企画課

電話(044)965-5112

〒215-8570 川崎市麻生区万福寺1丁目5番1号

FAX(044)965-5200